

報告

保険医療医師研修会

常任理事・医療保険部長 橋本 洋一

会員各位に「より適正な保険診療の実践」および「保険診療上のルールや留意事項等の周知」等を目的に平成14年度から「保険医療医師研修会」を実施している。今年度は表1のとおり開催した。

本研修会は、当会医療保険部担当役員が道内各地に赴いて（昨年度は留萌・松山・根室市外三郡・北広島医師会へ訪問）、講演を行っており、講演後、出席会員が日ごろ疑問に感じている保険診療や審査に関して意見交換を行っている（表2）。

初めに「保険診療上のルールと指導・監査について」三宅副会長が①保険医療機関および保険医療養担当規則、②医事関係訴訟事件、③カルテの保存年限、④保険診療における禁止事項、⑤実費徴収が認められるサービス・認められないサービス、⑥カルテ記載の重要性、⑦保険外併用療養費等について説明した。

また、北海道厚生局が実施する各指導の形態や概

要、三大不正行為（架空請求・付増請求・振替請求）の実例や指導における立会者の役割などを説明し、最後に「集団指導（新規指定時講習会）」「集団的個別指導」を保険医療機関の管理者が正当な理由なく欠席した場合には、返還を伴う「個別指導」に移行する場合があるので、必ず出席するよう注意喚起した。

次いで、「保険診療上の留意事項について」小職より、社保支払基金・国保連合会両審査機関における審査や件数・査定率等の状況、内科領域ならびに全科で問題となる事項などについて説明。

また、査定対象になりやすい例として①疑い病名での治療、②低薬価（175円以下）薬剤使用時の病名の有無、③併用不可の薬剤、④薬剤投与日数の制限、⑤薬剤の適応病名、⑥傷病名と画像診断部位の不一致、⑦一律のセット検査、⑧薬剤の使用量、⑨適応のない抗がん剤の使用など約30項目を挙げ、「医科点数表の解釈」等を十分参照するよう促した。

各地域の出席者からは「保険診療と自由診療のカルテの区別」「病名（2型糖尿病）の記載について」「高脂血症治療薬の使用」「病名漏れによる返戻」「佐薬の処方」「モノクロナール抗体法による検査の病名付け」「外来迅速検体検査加算」等に関する質問があり、活発な意見交換を行った。

平成24年度の開催は11月22日を以って終了したが、引き続き平成25年度も行う予定であるので、開催の際には、是非、出席をいただきたい。

なお、「平成24年度の指導について」は本誌第1124号（24年5月1日発行）の指標に三宅副会長が執筆しているので参照いただきたい。



左から坪胆振西部医師会長、長瀬会長
三宅副会長、橋本常任理事



研修会の様子（旭川会場）

表1 開催状況

回	日時	場所
1	平成24年9月27日(木) 午後6時30分～	稚内市 稚内サンホテル
2	平成24年10月17日(水) 午後6時30分～	帯広市 ホテル日航ノースランド帯広
3	平成24年10月30日(火) 午後6時30分～	伊達市 ホテルローヤル
4	平成24年11月22日(木) 午後6時30分～	旭川市 ロワジュールホテル旭川

表2 保険医療医師研修会 次第

1. 開 会 (司会)北海道医師会常任理事・医療保険部長 橋本洋一
2. 挨拶 北海道医師会、開催地医師会
3. 研 修 (1) 保険診療上のルールと指導・監査について (60分) 北海道医師会副会長 三宅直樹 (2) 保険診療上の留意事項について (30分) 北海道医師会常任理事 橋本洋一
4. 意見交換
5. 閉 会